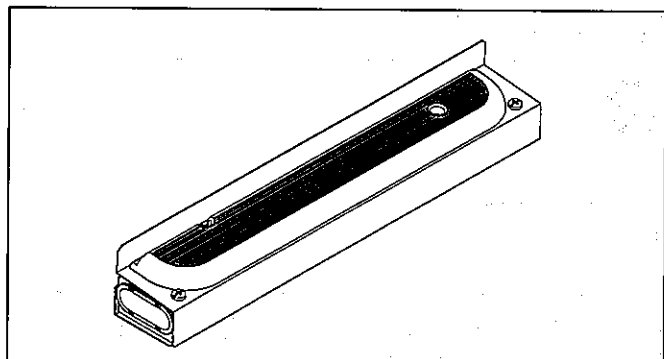


保管用

施工説明付き

Panasonic®

取扱説明書



住宅用照明器具 (Architectural Light)

品番 LGB50110LE1 (4灯)
LGB50111LE1 (8灯)
LGB50113LE1 (16灯)

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 特にご使用前に「安全上のご注意」(2~3ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- 施工には電気工事士の資格が必要です。

工事店様へ

- この説明書は必ずお客様にお渡しください。

もくじ

安全上のご注意	2~3
付属部品の確認	3
各部のなまえ	4
寸法図	4
施工上の注意	5
照明器具を取り付ける	6~8
ランプを交換する	9
お手入れについて	9
ご使用上に関するお知らせ	9
仕様	9
保証とアフターサービス	9

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や
損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある
内容」です。

 **注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が
発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図表示で
説明しています。(下記は図記号の一例です。)

  してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

警告



必ず守る

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店
またはお客様ご相談窓口にご相談ください。



分解禁止

●器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれが
あります。



禁止

●布や紙など燃えやすいものをかぶせない
火災の原因となることがあります。

●アルカリ系洗剤は使用しない
強度低下により破損し、落下するおそれが
あります。

注意



必ず守る

●照明器具には寿命があります。
設置して10年経つと、外観に異常が
なくても内部の劣化は進行しています
点検・交換してください

点検せずに長期間使い続けると
まれに火災・感電・落下などに
至る場合があります。

◎1年に1回は別紙「安全チェックシート」
に基づき自主点検してください。

●器具の取り外しは販売店、工事店に
依頼する

器具の取り外しには資格が必要です。

●お手入れの際は、電源を切る
通電状態で行うと感電の原因となることが
あります。



接触禁止

●点灯中や消灯直後はランプの周辺に
さわらない
やけどの原因となることがあります。



禁止

●温度の高くなるものを器具の真下に
置かない

火災の原因となることがあります。

◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

●LEDを直視しない

目の痛みの原因となることがあります。

施工説明

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

■取付面

●次のような場所には取り付けない

火災、感電、落下によるけがの
おそれがあります。

- ・不安定な場所
- ・補強のない薄い場所
(ベニヤ板や石こうボードなど)

◎壁面（縦・横向き）・天井面・据置取り付け
専用です。



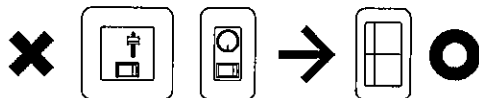
禁止

■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、 一般の入切用スイッチに交換する 火災のおそれがあります。



必ず守る



◎調光器の取り外しが必要です。

■その他

●器具の取り付けは、説明書に従い 確実に行う

取り付けに不備があると、火災、感電、落下
によるけがのおそれがあります。

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災・感電の
おそれがあります。

●電源線は端子台の差込み穴の奥まで 確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、
火災・感電のおそれがあります。

●メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板 張りの木造の造営材に器具を取り付ける 場合は、器具の金属部と絶縁をとる

木ネジ、器具の取付板等とメタルラス、
ワイヤラス、金属板とが電氣的に
接触しないように取り付けてください。
守らないと、漏電した場合、
火災のおそれがあります。



必ず守る

注意



禁止

●温度の高くなるものの上に取り付けない レンジ等温度の高くなるものの上に 器具を取り付けしないでください。 火災の原因となることがあります。



水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や屋外で 使用しない

火災、感電の原因となることがあります。
◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

施工前のご注意

- ほたるスイッチと接続する場合は器具1台につきスイッチ3個まででご使用ください。
(4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります)

器具取り付け用 付属部品

座付木ネジ
: 38mm (2本)

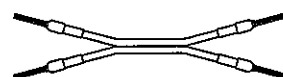


座付木ネジ
: 13mm (2本)



送り用電源線…1本

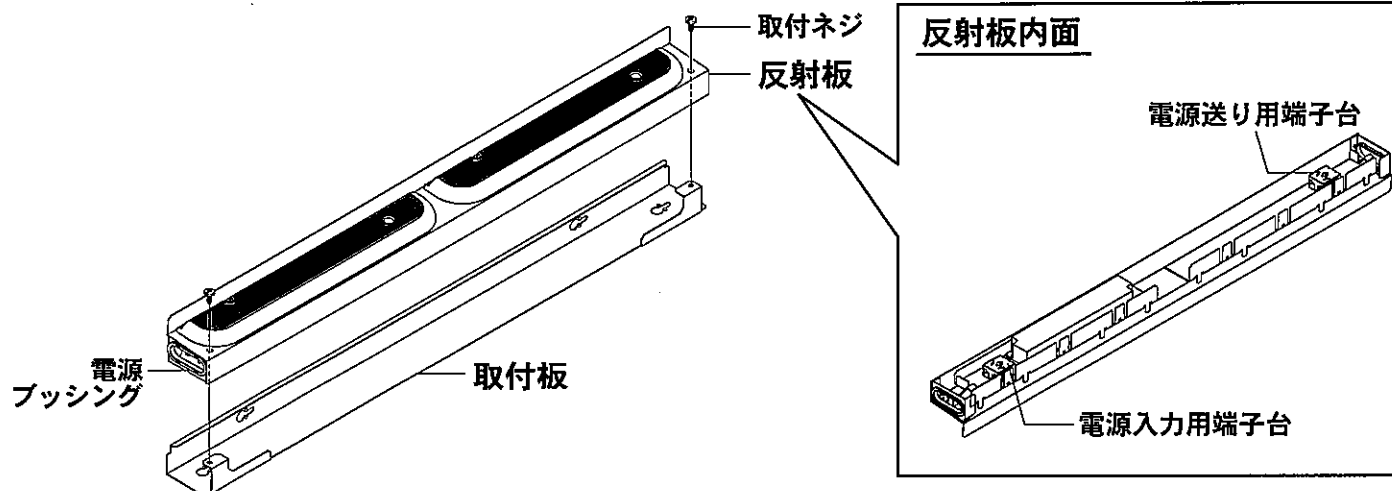
(電源線の器具内送りを行う際に使用)



※LGB50110LE1には同梱していません。

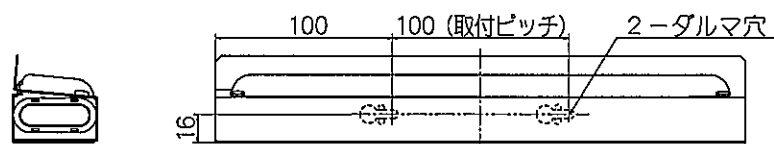
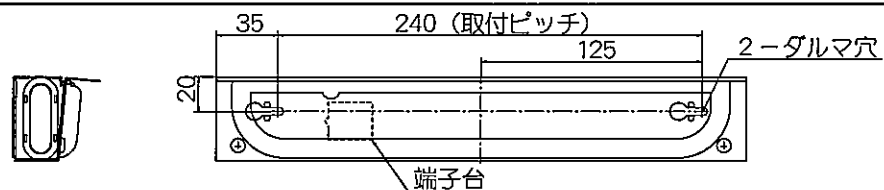
各部のなまえ

- 下記イラストはLGB50111LE1で説明しています。
取付ピッチは下記「寸法図」をご参照ください。

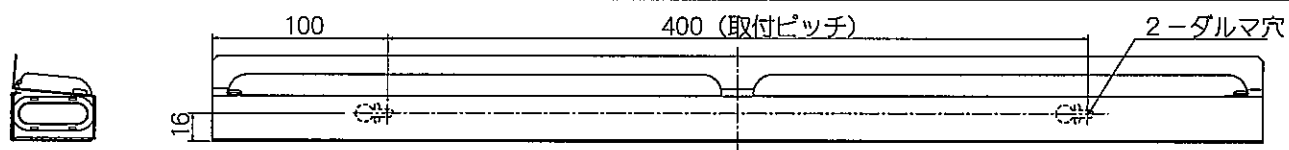
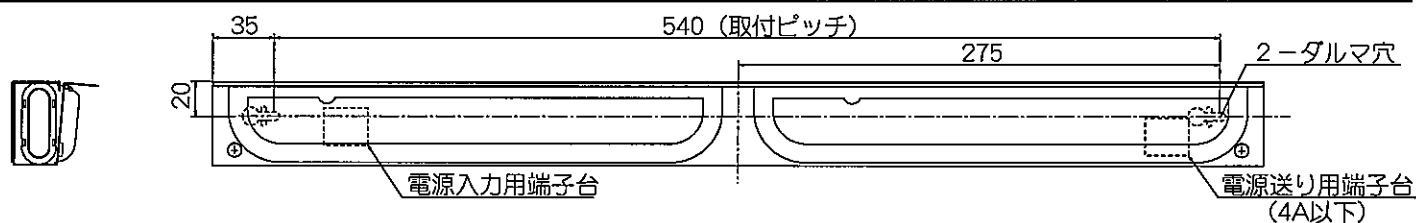


寸法図

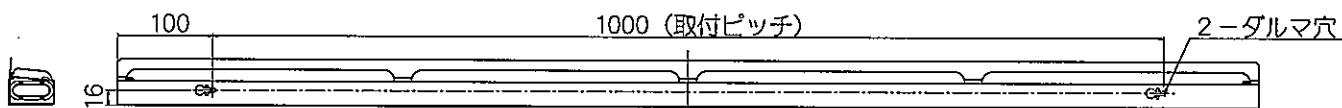
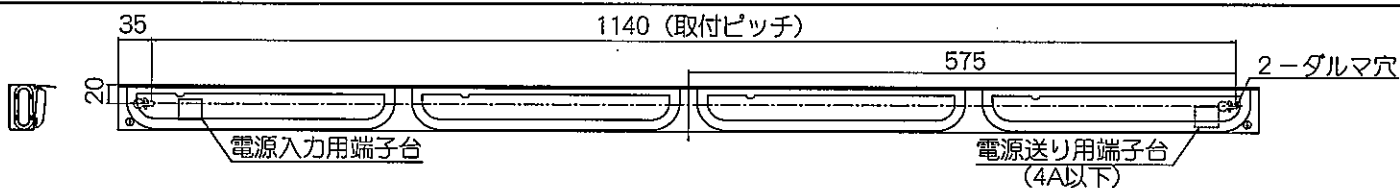
LGB50110 LE1



LGB50111 LE1



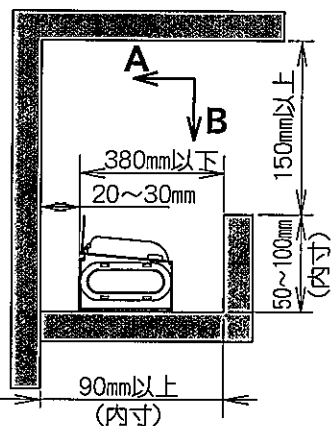
LGB50113 LE1



施工上の注意

■コーブ照明 (据置)

B 方向で固定

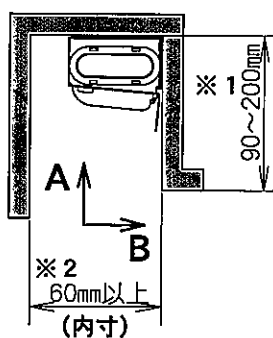


座付木ネジ(13mm)を使用して施工する



■コーニス照明(天井付)

A 方向で固定



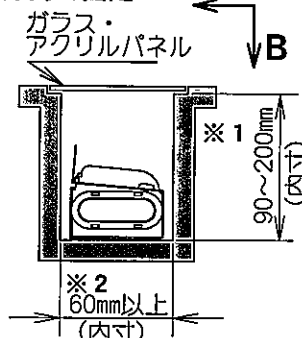
注) ※2 が100mm未満の場合は、※1 を100mm以下

座付木ネジ(38mm)を使用して施工する



■家具内照明 (据置)

B 方向で固定

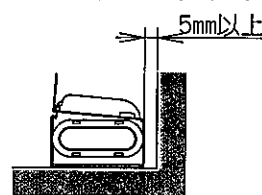


注) ※2 が100mm未満の場合は、※1 を100mm以下

座付木ネジ(13mm)を使用して施工する

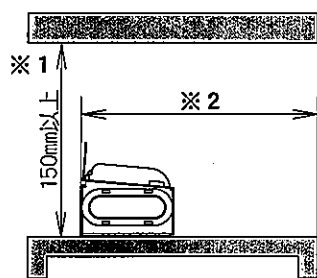


施工の際、下図のスペースを確保してください。
器具取付に要する寸法です。



■家具内照明 (据置)

幕板なしの場合
B 方向で固定

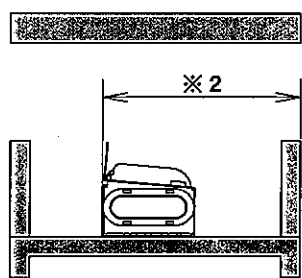


注) ※1 が300mm未満の場合は、※2 は380mm以下

座付木ネジ(13mm)を使用して施工する



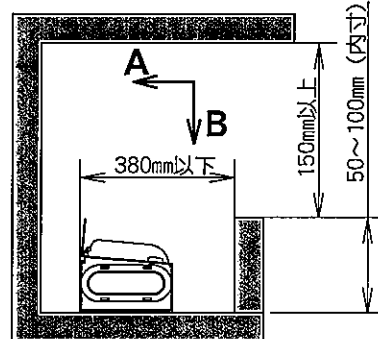
幕板ありの場合
B 方向で固定



注) ※1 が300mm未満の場合は、※2 は380mm以下

■パーティカル照明 (縦方向/壁付)

B 方向で固定
上から見た図

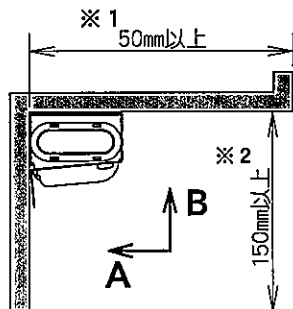


座付木ネジ(38mm)を使用して施工する



■棚下・家具下照明 (壁付・天井付)

・器具を奥に固定する場合
A 方向で固定

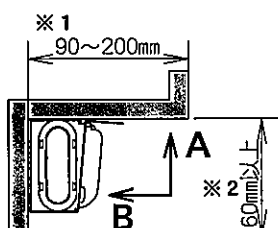


注) ※2 が300mm未満の場合は、※1 は380mm以下

座付木ネジ(38mm)を使用して施工する



・器具を奥に固定する場合
B 方向で固定

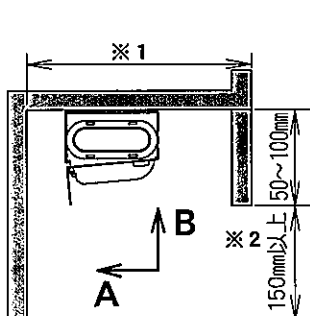


注) ※2 が100mm未満の場合は、※1 は100mm以下

座付木ネジ(38mm)を使用して施工する



・器具を手前に固定する場合
B 方向で固定

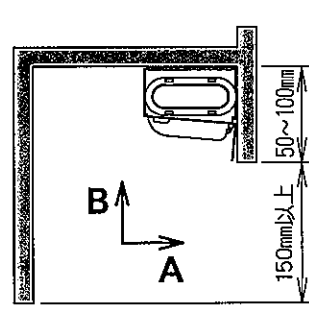


注) ※2 が300mm未満の場合は、※1 は380mm以下

座付木ネジ(13mm)を使用して施工する



・器具を手前に固定する場合
B 方向で固定



座付木ネジ(13mm)を使用して施工する



器具を連結しない場合の取り付けかた

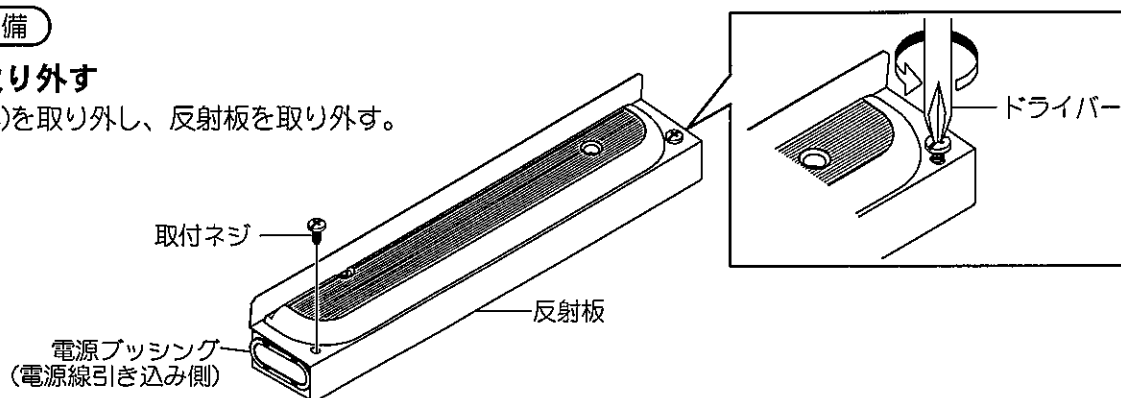
照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

取り付け前の準備

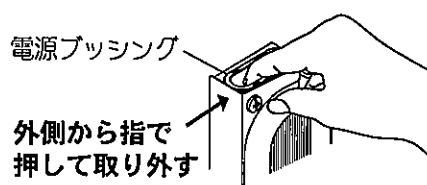
1 反射板を取り外す

取付ネジ(2本)を取り外し、反射板を取り外す。



2 電源ブッシングのフタを取り外す

電源線引き込み側の電源ブッシングのフタを外す。



取り付け方

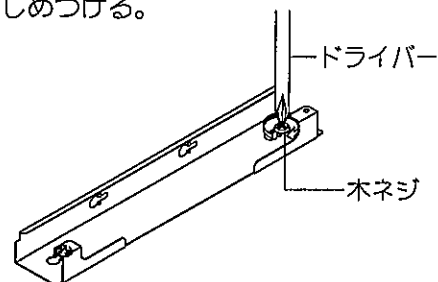
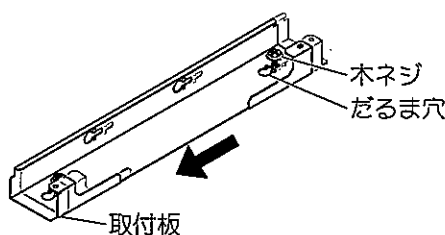
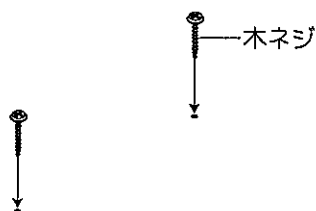
1 取付板を取り付ける

①木ネジ(2本)を取付面に仮止めする。

④ 4ページ「寸法図」参照

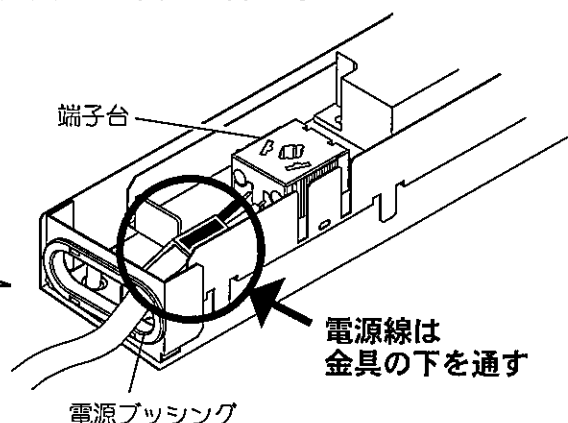
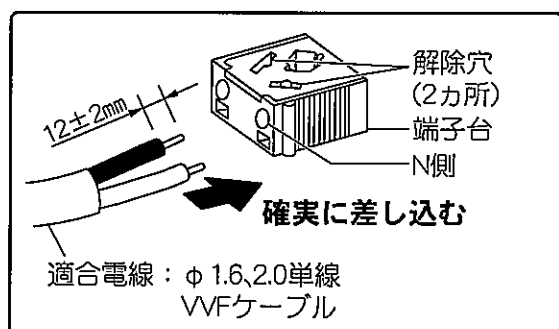
②だるま穴に木ネジを通し取付板をスライドさせる。

③ドライバーで、木ネジ(2本)をしめつける。



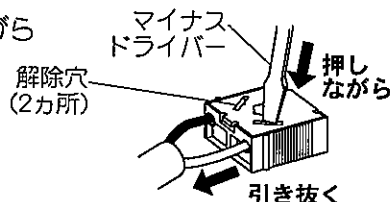
2 電源線を接続する

電源線を本体の電源ブッシングから引き込み、端子台の差込み穴の奥まで確実に差し込む。



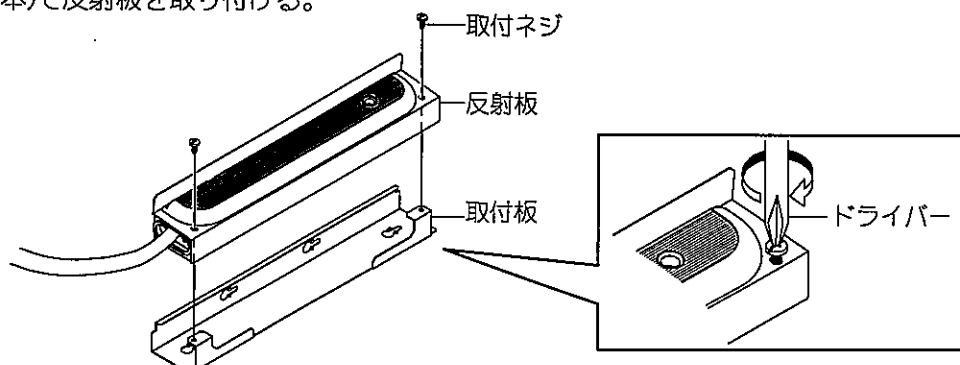
電源線の取り外しについて

マイナスドライバー等で、解除穴を押しながら電源線を引き抜く。



3 反射板を取り付ける

取付ネジ(2本)で反射板を取り付ける。



器具を連結する場合の取り付けかた

照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

取り付け前の準備

1 反射板を取り外す

☞ 6ページ「器具を連結しない場合の取り付けかた」(取り付け前の準備)の1参照

2 反射板の両端にある電源ブッシングのフタを取り外す

- ・連結する器具と器具間の電源ブッシングのフタを外す。
- 連結の終端に取り付ける器具は電源線引き込み側のフタのみ外す。

☞ 6ページ「器具を連結しない場合の取り付けかた」(取り付け前の準備)の2参照

参考例) LGB50113LE1とLGB50111LE1を連結する場合

電源線の引き込み

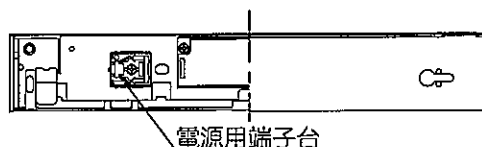
電源ブッシングのフタを抜かない



LGB50110LE1

- ・送り用端子台が付いていません。端子台が付いている側からのみ、電源線を引き込む事ができます。最後に施工してください。

電源線の引き込み可能

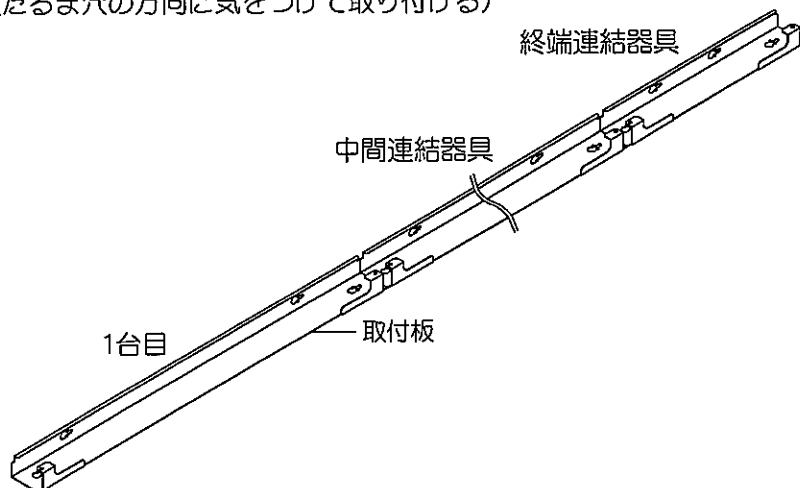


電源用端子台

1 取付板を取り付ける

☞ 6ページ「器具を連結しない場合の取り付けかた」1参照

1台目→中間連結器具→終端連結器具の順に施工していく。
(だるま穴の方向に気をつけて取り付ける)

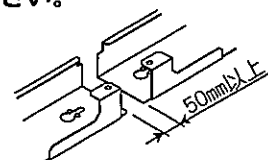


注意

- 連結部に隙間を設けない場合は取付板を突き合わせて取り付けてください



- 連結する器具間の隙間が50mm以上の場合は別途、VVFケーブル(φ1.6,2.0単線)をご用意ください。



(次ページにつづく)

器具を連結する場合の取り付けかた

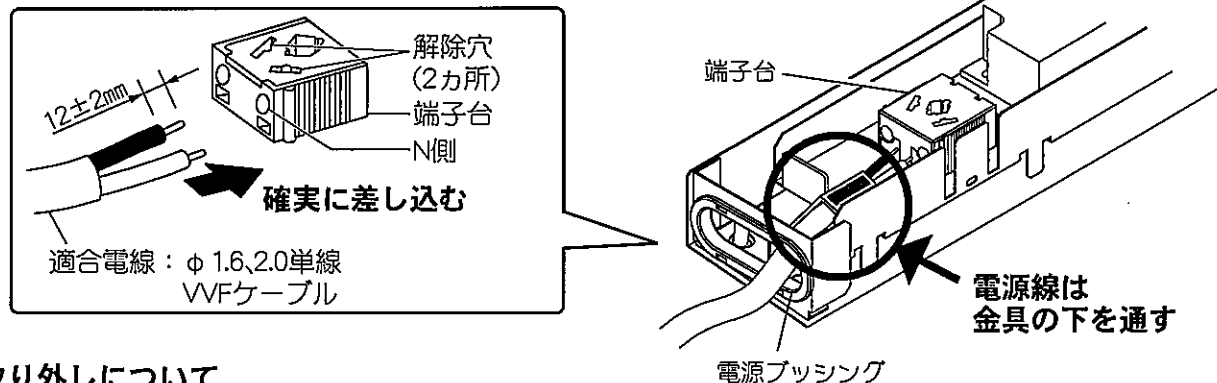
照明器具を取り付ける(つづき)

安全のため、電源を切ってから行ってください

1台目の取り付け

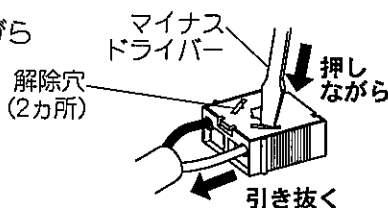
2 電源線を接続する

電源線を反射板の電源ブッシングから引き込み、端子台の差込み穴の奥まで確実に差し込む。

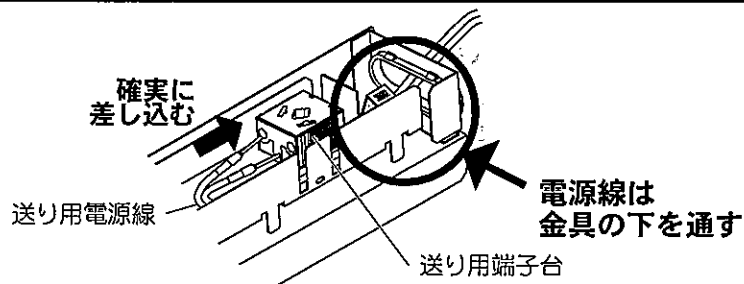


電源線の取り外しについて

マイナスドライバー等で、解除穴を押しながら電源線を引き抜く。

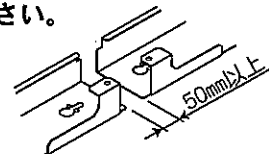


3 送り用端子台に付属の送り用電源線を接続する



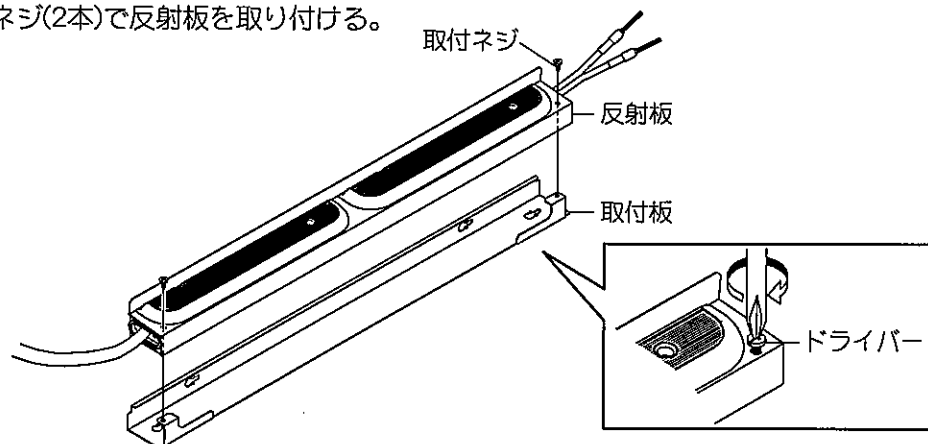
注意

- 連結する器具間の隙間が50mm未満の場合は、付属の送り用電源線を使用してください。
- 連結する器具間の隙間が50mm以上の場合は別途、VVFケーブル(φ 1.6, 2.0 単線)をご用意ください。



4 反射板を取り付ける

取付ネジ(2本)で反射板を取り付ける。



2台連結の場合、**8** へ進む。

3台以上連結の場合、**5** へ進む。

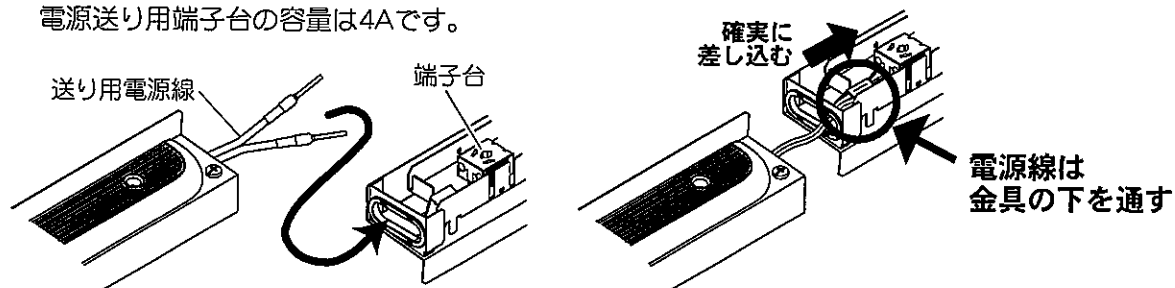
中間連結器具の取り付け

5 送り用端子台に送り用電源線を接続する

☞ 8ページ「**3** 送り用端子台に付属の送り用電源線を接続する」参照

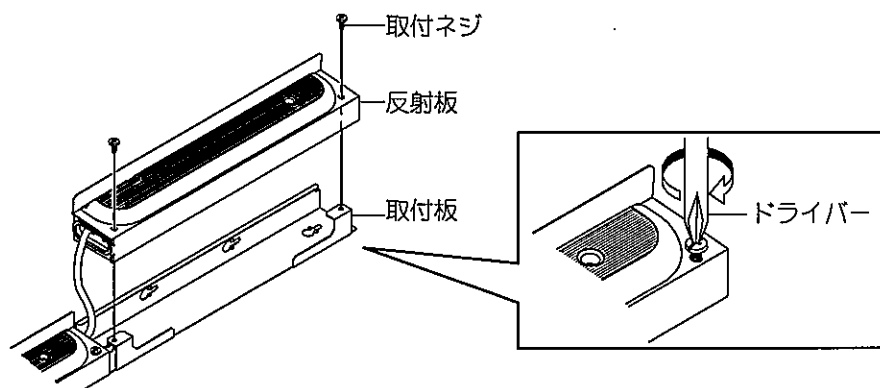
6 端子台に**3**で接続した送り用電源線を接続する

電源送り用端子台の容量は4Aです。



7 反射板を取り付ける

取付ネジ(2本)で反射板を取り付ける。



次の器具が中間連結器具の場合、**5**～**7** をくり返す。
次の器具が終端連結器具の場合、**8** へ進む。

終端連結器具の取り付け

8 電源線を接続する

☞ 8ページ「**2** 電源線を接続する」参照

9 反射板を取り付ける

☞ 上記「**7** 反射板を取り付ける」参照

お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- LEDにはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LEDが点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店、別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。
- LED光源は通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器(エアコンなど)のリモコンが動作しにくくなる場合があります。

仕様

品番	使用電圧	周波数	消費電力	入力電流
LGB50110LE1	AC100V	50/60Hz共用	5.9W	0.12A
LGB50111LE1			10.9W	0.20A
LGB50113LE1			21.6W	0.40A

- 品番は反射板のラベルを参照ください。
- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光速が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・使いかた・お手入れなどは…

- まず、お買い上げの販売店へご相談ください
- ▼お買い上げの際に記入されると便利です

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

販売店名

電 話 () -

お買い上げ日 年 月 日

●製品名 住宅用照明器具

●品番 ○○○○○○

●故障の状況 できるだけ具体的に

- 保証期間中は、お買い上げ日を特定いただき、お買い上げの販売店までご連絡ください。保証の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、安定器・LED電源については3年間です。

保証書が必要な場合は、当社代理店または当社営業所へお申し出ください。
※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 **6年**

*当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニック株式会社 インテリア照明ビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

© Panasonic Corporation 2012

LGB50110LE1-T3A1

NO411-011111